

## 講師 臼井 拓朗

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例 制作テーマの抽出	2016. 4～7	<p>担当授業「デザイン基礎演習D（観察するデッサン）」において実施。</p> <p>身近なものや発見をモチーフにしながら、制作テーマを抽出させることで、“描くこと”が必ずしも描写力や技術的向上だけにとどまらず、テーマに則した表現手法があることを提示。技術的に不安がある学生が、描写力のある学生に対しての劣等感をもたず、自由に絵画表現することを目的とした。</p>
ドローイングブックの作成	2016. 4～7	<p>担当授業「デザイン基礎演習D（観察するデッサン）」において実施。</p> <p>授業で制作したデッサンやドローイングを、自らのテーマに則した作品集のように綴じて提出を求めた。そうすることで、デザインで必要となる人に伝える力の養成とともに、作品集を学生同士が見せ合うことで、同じテーマであっても表現方法の違いを知るきっかけとなった。</p>
プロジェクトの活用	2016. 4～7	<p>担当授業「デザイン演習Ⅲ-1（MC）MCD」において実施。</p> <p>ウェブデザインにおいて必要となる、UIやUXについての理解を深めるために、有名なサイトを例に挙げながら、時代とともに変化するインターフェイスとその構造を、制作しながら全体へ説明。また、学生からの個別の質問に対しても、プロジェクトを使用し答えることで、他の学生との情報共有を図った。</p>
◎作成した教科書・教材 デザイナーによるドローイングの紹介・プリント	2016. 4～7	<p>担当授業「デザイン基礎演習D（観察するデッサン）」において実施。</p> <p>物事への観察と表現方法との関係を学ぶために、デザイナーによるドローイングを提示し、描く=写実的技術力という画一的な視点以外にも、様々な表現方法があることを説明。とくに、入試対策としてデッサンを行ってきた学生は、形式的な観察になってしまっており、表現方法も似ている傾向があったため、配布したドローイングの上から描き足すことで、今までとは違う表現技法を知るきっかけとした。</p>

HTMLとCSSの説明用プリント	2016. 4~7	担当授業「デザイン演習Ⅲ-1 (MC) MCD」において実施。ウェブデザインにおいて最低限の理解が必要となるHTMLとCSSについて、初歩から応用までの要点を、図や作成例を交えながら各回で配布。 授業外での制作や、サイト作成時にメモを書き加えることで、どこまで理解が進んでいるのかの情報共有を目的とした。
------------------	-----------	---

職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
模擬授業 (富山第一高校)	2016. 7. 8~9	ストップモーション・アニメーションを2日間で制作するワークショップを行った。初日は、コマ撮り映像の歴史と作品を紹介した上で、ストーリーの案出し、試作。2日目は撮影、編集とし、ストップモーション・アニメーション制作の基礎から編集までを学ぶ機会とした。
模擬授業 (名古屋市工芸高校)	2017. 1. 19	パソコン画面を利用した、ストップモーション・アニメーションを制作するワークショップを行った。パソコン画面に、紙に描いて切り取ったキャラクターを貼り付け、パソコン画面とともに写真撮影を行うことで、現実とネット画面の特性を生かした映像制作を行い、新しい資格表現を考えるきっかけとした。

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
常滑フィールド・トリップ2016	グループ展	2017. 10. 8~16	常滑工房、他	古い建物に残された椅子や机を使用し、その場所でインスタレーションし、またそれらを利用した映像作品も同時に展示した。普段、作品制作に使用している道具とそこで使用されていた道具との関係に焦点を当て、道具が並べられ、置き換えられる様子を、俯瞰（垂直方向）視点で撮影し、ストップモーション・アニメーションとして提示した。